

情報教育支援・実践SIG 活動報告

29th August 2024 / 第48回CITPコミュニティ

2024年度活動サマリ

- 高等教育チーム：昨年同様3大学の授業参画
 - ・情報社会論(石巻専修大学)：10/15
 - ・情報社会倫理(横浜国立大学)：10/29, 1/14
 - ・情報セキュリティ(東京都市大学)：12月
- 初等中等教育チーム：教員研修教材の提供
 - ・高等学校「情報II」(神奈川県教育委員会)

【高等教育チーム】

1) 石巻専修大学：CITP 5名(橋本・笹部・佐藤・有松・菊池)

時期	実施内容
5月～ 実施中	講義資料のリファイン検討(隔週)
6/25	劉先生とのキックオフ
9/19	講義資料レビュー
10/14	劉先生、阿部先生、佐々木先生との懇親会
10/15	授業実施(対面)

石巻専修大学Web講義要項(シラバス)〔学部用〕

シラバス参照

検索結果一覧へ戻る

開講年度	2024
科目名	情報社会論
職名/担当教員	理工学部 准教授 劉 忠達
期間/曜日/時限	後期 火曜日 1時限
配当	
単位	2

<授業概要>

情報技術が社会に大きな影響を与えている。高度な情報化は経済や社会の仕組みのみならず、人間の生き方や心の在り方にまで影響を及ぼしている。このように情報の恩恵を享受できる豊かで安心な社会の実現を目指し、多様化した現代社会の問題に対して柔軟に対処できるための情報について学習する。また、情報機器等を効果的に活用した実践力、コミュニケーション能力や情報の創造力・発信力等を養うなど、情報化社会に積極的に参画できる能力を身に付ける。

<DPとの関連>

- ①幅広い教養と専門的知識[知識・理解]:-
 - ②情報収集力と情報発信力および専門的能力[汎用的技能]:-
 - ③主体的な行動力と社会諸課題解決への姿勢[態度・志向性]:☆
 - ④創造的思考力と研究遂行能力[統合的な学習経験と創造的思考力]:-
- [☆:関連するもの、-:関連しないもの]

<到達目標>

情報が社会にどのような影響を与えているかを具体的に学習し、いかにすればこの恩恵に供することができるか、いかにして負の側面を回避するかについて体得することが到達目標である。このために、情報通信技術の応用、情報リテラシー、情報セキュリティと倫理などについて理解を深める。

[https://isyllabus.acc.senshu-u.ac.jp/syllsenshu/slbssbdr.do?value\(risyunen\)=2024&value\(semekikn\)=1&value\(kougicd\)=1376&value\(crclumcd\)=](https://isyllabus.acc.senshu-u.ac.jp/syllsenshu/slbssbdr.do?value(risyunen)=2024&value(semekikn)=1&value(kougicd)=1376&value(crclumcd)=)

2) 横浜国立大学 : CITP 6名(橋本・笹部・佐藤・五十嵐・福士・菊池)

時期	実施内容
7月	実施日調整
10/29	1コマ目 CITP授業実施
2024/1/14	2コマ目 CITP授業実施

情報社会倫理[Ethics in Information Society]					
担当教員 吉岡 克成, 森 辰則, 葛谷 直規, 村山 太一[MORI TATSUNORI, KUZUYA NAOKI, MURAYAMA TAICHI]					
開講学部等	理工学部	対象年次	3~	単位数	2
開講時期	秋学期	開講曜限		使用言語	日本語
授業形態	対面	授業形態(詳細)		クラス	
				授業方法	講義

授業の目的

情報システムの利用者の倫理とモラル、情報分野における知的財産権と不法行為、及び情報システムの設計・利用の際の情報の保護と管理、ネットワークのセキュリティと危機管理などの社会における情報の倫理について学ぶと共に、実際の企業における情報の取り扱い事例について学び、それらを説明することができるようにすることを目指す。本授業は、民間企業や国立研究機関での実務経験を持つ教員陣が、その培った実務経験を活かして提供する。

授業計画

(項目説明) 授業全体のスケジュールを示しています。学修計画を立てる際の参考にしてください。

- 1.情報システムの利用者の情報倫理とモラル ~情報リテラシー入門~
- 2.知的財産権と個人情報保護 ~定義・対策・法律の現状と課題~
- 3.情報分野における知的財産権と不法行為 ~ソフトウェアを中心に~
- 4.人工知能と倫理
- 5.サイバーセキュリティ ~各種の攻撃とそれらに対する対策・防御~
- 6.情報分野における研究倫理(1) ~事例紹介とディスカッション~
- 7.情報分野における研究倫理(2) ~事例紹介とディスカッション~
- 8.企業における情報倫理(1) ~情報管理と危機管理~
- 9.企業における情報倫理(2) ~知的財産の保護と知財戦略~
- 10.企業から見た情報倫理の扱い(1) ~事例紹介とディスカッション~
- 11.企業から見た情報倫理の扱い(2) ~事例紹介とディスカッション~
- 12.教育機関における情報危機管理と情報倫理教育(1) ~中学・高校を中心に~
- 13.教育機関における情報危機管理と情報倫理教育(2) ~大学を中心に~
- 14.産官学連携活動における情報倫理(1) ~大学と企業との共同研究を中心に~
- 15.情報社会倫理における先端トピックス

https://risyu.jmk.ynu.ac.jp/gakumu_portal/public/Syllabus/DetailMain.aspx?lct_year=2024&lct_cd=6I320IZ&je_cd=1

3) 東京都市大学 : CITP 5名 (笹部・佐藤・橋本・有松・菊池)

時期	実施内容
	志田先生との打ち合わせ(年度方針確認)
12月 木曜4限	授業実施(情報セキュリティ)

東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY
文字サイズ 大

シラバス参照

[検索結果一覧へ戻る](#)

授業科目名 /Course Title(Japanese)	情報セキュリティ
科目英名 /Course Title(English)	Information Security
開講年度 /Academic Year	2024
開講学科 /Department	2022年度 情報科学科
分野系列 /Subject Category	■専門・選択■
学年 /Student Year	3年生
学期 /Semester or Quarter	後期後半
担当者 /Instructor(s)	志田 晃一郎
単位数 /Number of Credit(s)	1

科目概要 /Course description	コンピュータ/ネットワークが不可欠なインフラストラクチャとなった一方で、情報セキュリティに関わる事件・事故が頻発している。この科目では情報セキュリティに関わる基本的な知識を学ぶ。即ち、学科のカリキュラムポリシーの4番である、コンピュータ全般にわたる基礎的能力を習得することと同時に、同2番、技術社会における責任感と倫理観を習得することを目的としている。Cisco Networking Academy が提供するe-Learning教材を使用する。 [情報科学科において深く関連(◎)あるいは関連(○)する学習・教育到達目標] ○ (B,D,E)												
達成目標 /Goals	情報セキュリティ技術や情報セキュリティ諸規定に関する基本的な知識をもち、情報セキュリティ機関、企業などから動向や事例を収集し、自分が関与している環境への適用の必要性を評価できる。												
成績評価 /Grading criteria	On-line 教材の理解度確認テストによる。												
授業計画 /Schedule	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center; background-color: #ffffcc;">第4回</td> <td style="width: 70%; background-color: #e6e6ff;">授業内容</td> <td style="width: 20%; background-color: #e6e6ff;">参考資料・参考URLなど</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="background-color: #e6e6ff;">情報処理学会より認定情報技術者の講師を招いて、情報セキュリティについて特別講義をしていただく。</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="background-color: #e6e6ff;">事前事後学習課題</td> <td style="background-color: #e6e6ff;">事前事後学習時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="background-color: #e6e6ff;">特別講師からの事前課題と事後課題に回答する。</td> <td style="background-color: #e6e6ff;">予習2時間、復習2時間。</td> </tr> </tbody> </table>	第4回	授業内容	参考資料・参考URLなど		情報処理学会より認定情報技術者の講師を招いて、情報セキュリティについて特別講義をしていただく。			事前事後学習課題	事前事後学習時間		特別講師からの事前課題と事後課題に回答する。	予習2時間、復習2時間。
第4回	授業内容	参考資料・参考URLなど											
	情報処理学会より認定情報技術者の講師を招いて、情報セキュリティについて特別講義をしていただく。												
	事前事後学習課題	事前事後学習時間											
	特別講師からの事前課題と事後課題に回答する。	予習2時間、復習2時間。											

[https://websrv.tcu.ac.jp/tcu_web_v3/slbssbdr.do?value\(risyunen\)=2024&value\(semekikn\)=1&value\(kougicd\)=sb314402&value\(crclumcd\)=s22210](https://websrv.tcu.ac.jp/tcu_web_v3/slbssbdr.do?value(risyunen)=2024&value(semekikn)=1&value(kougicd)=sb314402&value(crclumcd)=s22210)

【初等中等教育チーム】

・神奈川県立総合教育センター(CITP 12名)

時期	実施内容
3/7	総合教育センターとの打ち合わせ(年度方針確認)
4/16	テーマ・概要案提示、ディスカッション
6/14	教材提出
8/2	教材・研修動画提出
8/16	センターにて掲示・研修開始

講座詳細

- 動画による4つの講座展開
- 各講座50分程度 (シラバス上は1時間と表記)
 - 演習との兼ね合いもあるが、動画は30~50分程度
- 受講者向けの演習が含まれると尚良
- 皆様から見た各章の技術的な解説
- ポイントを絞った事例紹介
- 授業実践に応用できそうなテーマ解説

神奈川県立総合教育センター

令和 6 年度 研修講座シラバス

研修の種類	自己研鑽のための研修	コンセプト	授業力向上
-------	------------	-------	-------

1. 研修講座名

事業名	授業力向上のための研修の実施		対象	高・中等
講座名	2024-302076 情報の授業づくり研修講座～民間企業視点で学ぶ「情報Ⅱ」～	定員	100	

2. 研修目的・日数

目的	高等学校情報科の科目について、授業実施に必要な知識・技能を身に付け指導力の向上を図ります。	日数	1
----	---	----	---

3. 研修内容

1 日目 机上研修 8月16日（金）より掲載 掲載期限 1月31日（金）

ねらい（身に付けたい資質・指導力等）	形態・時間	内容	講師等
学習指導要領の内容を踏まえ、「情報Ⅱ」の第2章「コミュニケーションとコンテンツ」について、事例を通して授業実施に必要な知識・技能を身に付ける。	講義・演習 1時間	安全で効率的なコミュニケーションのために	一般社団法人情報処理学会CITP認定技術者 NTTテクノクロス株式会社 菊池修 氏
学習指導要領の内容を踏まえ、「情報Ⅱ」の第2章「コミュニケーションとコンテンツ」について、事例を通して授業実施に必要な知識・技能を身に付ける。	講義・演習 1時間	マーケティングを用いたコンテンツの構築 -喜んでもらえるように改善しよう-	一般社団法人情報処理学会CITP認定技術者 株式会社中電シーティーアイ 内藤大輔 氏
学習指導要領の内容を踏まえ、「情報Ⅱ」の第3章「情報とデータサイエンス」について、事例を通して授業実施に必要な知識・技能を身に付ける。	講義・演習 1時間	熱中症関連データからデータ分析する力を養う	一般社団法人情報処理学会CITP認定技術者 NECソリューションイノベータ株式会社 井川淳司 氏
学習指導要領の内容を踏まえ、「情報Ⅱ」の第4章「情報システムとプログラミング」について、事例を通して授業実施に必要な知識・技能を身に付ける。	講義・演習 1時間	小さな信号機をつなぎ大きな街を創るグループワーク	一般社団法人情報処理学会CITP賛助会員 株式会社ソフトウェアコントロール 安田隆 氏

<https://edu-ctr.pen-kanagawa.ed.jp/Kouza/Syllabus/View/2024302076>

Thank you for your attention.
